

# ザスパ2008 ステーション

## スクール

ザスパ育成コーチ陣が、子どもたちにサッカーの基礎や楽しさなどを伝える「ザスパ草津サッカースクール」が定着してきた。現在は、前橋、伊勢崎、館林、吾妻などで開講。園児から中学生まで約350人がサッカーを学ぶ。クラスによっては練習後に英会話や補習授業を行うなどザスパならではの特色も打ち出す。「3年生クラス」と、「ザスパU12(4年生)」を取材した。

前橋のスクールは、江田町のフットサル場「フットステーション」で行われる。スクールは、基本的に週2回で、元ザスパの小澤慶二郎U12監督、植木監督の長男・植木雅也U12コーチらが指導に当たる。

毎週水・金曜午後6時半からの3年生クラスは約40人が登録している。スクールが発足した04年から

ら通うスクール生も多く、将来の活躍が期待できるという。3年生を指導する小澤U12監督は「子どもたちの楽しさを伝える一方で、将来を見据えた本格的なメニューも取り入れている。富澤天音くん(3年)は「幼稚園の時からスクールに通っている。ここに来てサッカーがうまくなった」と話す。

4年生以上の選抜チーム・ザスパU12では今春から4年生を対象に英会話の訓練を始めた(5・6年は希望者)。子どもたちはサッカーの練習後にミーティング室に集合。英会話の教材を利用して、英単語や日常会話などの発声練習を行っている。自宅や車の中でも英会話のCDを聞いているという。子どもたちは、英会話をすらすらと口ずさみ、練習の成果を披露する。小澤U12監督は「子どもたちには毎日10分間でも英語を聞くことで勉強の習慣付けをしてほしい。サッカーだけではなく、勉強もしつかりやらないと一流の選手にはなれない」と話す。ザスパのスクールは「文武両道」がモットーだ。

### サッカーと英会話の「文武両道」



④スクールで学ぶ3年生⑤練習後、英会話に励む4年生

など行政のバックアップを受けており、今後、ザスパとの差を急速に縮めていくことになりそうだ。

#### ◆松下 母校にエール!

全国選手権の出場を決めた前橋育英のOBである松下が母校にエールを送った。「全国に出るのは目的ではなく、勝つことが目標。自分たちが出来なかった全国優勝を成し遂げてほしい」と松下。ザスパでは、熊本の母校・秋田商、秋葉忠、佐藤大の母校・市立船橋、北の母校・星稜が全国大会に出場する。

めた。尾本選手会長は「要望を言うだけではなく、サッカー選手としてグラウンドでしっかりと結果を残していきたい」と話した。

#### ◆栃木SC J2昇格濃厚

ザスパの永遠のライバルクラブで、隣県・栃木県にホームを置く栃木SCが今季JFLでJ昇格基準である4位以内を確保。来季のJ2昇格が濃厚になった。栃木SCが昇格すれば、来季は2004年以来的「両毛ダービー」が開催されることになる。J昇格こそザスパに遅れを取った栃木だが、栃木県

## WEEKLY NEWS 932

### ◆ザスパ選手会、知事と前橋市長を訪問

ザスパの尾本選手会長、松下主将、佐田、秋葉忠の4選手が13日に、大澤知事と高木前橋市長を訪問した。選手たちは29日のホーム最終戦の案内状を手渡すとともに、敷島の駐車場開放などを求